

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	ひまわり南千田教室		
○保護者評価実施期間	令和6年 11月1日		~ 令和6年11月30日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 6
○従業者評価実施期間	令和6年11月1日		~ 令和6年11月30日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	10	(回答者数) 10
○事業者向け自己評価表作成日	令和6年12月10日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	看護師、保育士、機能訓練士、児童指導員を配置し、各職種の職員が連携しながら情報共有し、児童発達支援計画に基づき支援が行えている	カンファレンスを定期的に行い、情報共有し、他職種それぞれの視点から利用児に合ったアプローチを行う	今後も定期的カンファレンスを徹底し、職員同士の情報共有を行い支援計画に基づいた支援を行う
2	日頃から保護者と利用児の状況を伝えあい情報共有をおこなっており安心して利用していただいていると思う	安心して利用して頂けるよう送迎時や連絡ノート、アプリを活用し保護者に利用児の様子を伝えるようにしている	普段の送迎だけでなく様々なツールや場面で保護者からも話をしやすいような環境を作っていく

3	非常時の対応についてマニュアルを作り緊急連絡先や利用児の内服薬を事前に預かり非常災害に備えて訓練などを行っている	定期的に緊急連絡先、内服薬、指示書などやマニュアルを見直しカンファレンスを行い避難訓練を実施している	今のマニュアルで対応できるのか定期的に見直し、何が必要であるのか、物品は足りているか今後もカンファレンスを行い、職員同士情報共有を行っていく
---	--	--	--

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	個室の部屋がなく個別対応が難しい場合がある。また物品が多く整理整頓がなされていない時もある	元々の部屋の作りが決まっている。 物の場所が決まっていないものがある	元々の部屋は決まってお作りを変えることは難しいが、パーティションで仕切ったり、カーテンを使用し個室を作り個別対応できるようにする。定期的に物品の場所がそこで適切かどうか見直す必要がある
2	災害について避難訓練を行っていることが知られていない	避難訓練の日は事前に説明するがその日の利用児のみことが多い	インスタやおたよりなどを活用し避難訓練の実施や災害時のカンファレンスなどを行っていることを知ってもらう
3	地域の保健・医療・障害福祉・保育教育などの関係機関と連携して支援を行う支援ができていない	学校や保育園、療育センターなどとは連携できているが医療関係と情報共有できるツールがない	保護者を介しての情報共有を行うことはできているが教室からもアプローチし連携につなげていく

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	ひまわり南千田教室				公表日	R7年 1月 31日	
					利用児童数	令和6年12月10日	回収数 21
	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	17	1	1	2		
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	18	1	0	2		
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	15	2	0	4	生活空間や設備の配慮について具体的に説明が少ないため評価は難しいと感じる。分かりやすい情報があるといいと思う。	おたよりなどで教室構造を紹介したり、茶話会などを通じて教室にきてもらう。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	15	1	0	4		
適切 な 支 援 の 提 供	5 子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	20	1	0	0		
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	18	3	0	0		
	7 子どものことを十分理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	19	1	0	1		
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	18	1	0	2		
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	21	0	0	0		
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	19	2	0	0		
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会がありますか。	6	1	5	9	地域の他の子供と交流があるかどうか把握しきれていない。案内がより明確だと助かる。 なくてもいい。	地域との交流を計画していく上で、子ども会や児童民生委員と連携をとっていく
保 護 者 へ の 説 明 等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	19	1	1	0		
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	17	3	0	1		
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	16	0	1	4		
	15 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	20	1	0	0		
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	20	1	0	0	面談もありとても丁寧だと思う	定期的な面談だけでなく、きッズノートなども活用して悩みに答えていくことを情報発信していく。
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	20	0	0	1		
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	15	2	2	2	十分な情報を得ていないので理解が難しい。活動内容が伝わるといいと思う	茶話会やお楽しみ会は企画している。より参加しやすい企画や情報発信の方法を考えていく。
19 子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	19	1	0	1	相談をあまりすることがないのですが対応していただけると思う	引き続き相談しやすい関係を築いていけるよう普段からコミュニケーションをとる	

	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	20	1	0	0		
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	20	0	0	1		
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	19	2	0	0		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	17	1	0	3	各種マニュアルや訓練の実施についての説明が不十分と感じている。もっと具体的に周知されると安心できる	マニュアルや方針を保護者にもっと伝えていけるよう、手紙やきっぷノートを活用して行っていく。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	16	2	0	3		訓練を行っているが報告ができていないため、内容を保護者にも伝えていく
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	17	1	0	3	安全確保の計画についても詳しく知らない為より分かりやすく伝えて頂けるとありがたい	教室でたてている「安全計画」の概要を保護者にも発信していく。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	20	1	0	0		
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	21	0	0	0	子どもも親も安心感がある	お子さまの様子を連絡帳やきっぷノートでしっかり伝えながら、送迎時などに保護者様と話をする時間を作る。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	20	0	0	1		
	29	事業所の支援に満足していますか。	21	0	0	0	季節ごとに様々な企画として楽しませてもらっている。安心して預ける場所があることにとても感謝している	

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		ひまわり南千田教室				公表日	R7年 1月 31日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	9	1	パーテーションやカーテンを利用したり、棚を設置して整理整頓しえいる。	スペースを変えることはできないため、よりスペース確保のための工夫を考えていく。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	9	1	十分な人員配置になるようシフトを組んでいるが、緊急時などは他教室と連携をとって対応している。	引き続き、他教室と連携をとり、職員の体調管理を促す研修などを行う。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	8	2	不要なものをおかないように心掛け、整理整頓を行っている。	障害の特性に応じた工夫としてどんなことができるかを検討していく。特に視覚的にわかりやすい工夫を考える。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	9	1			
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	9	1			
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	9	1			
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	10	0			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	10	0			
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	7	3			
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	10	0			
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	8	2			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	10	0			
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	10	0			
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	10	0			
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	10	0			
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	10	0			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	10	0			
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	10	0			

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	10	0		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	9	1		
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	10	1		
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	10	0		
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	10	0		
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか。	9	1		
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	10	0		
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	10	0		
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	8	2		
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	10	0		
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	10	0		
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	8	2		
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	8	1		
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	8	2		
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	9	1		
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	10	0		
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	7	3		
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	10	0		
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	10	0		
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	10	0		
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	10	0		

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	10	0		
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	10	0		
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	10	0		
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	10	0		
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	10	0		
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	6	3		
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	10	0		
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	10	0		
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	10	0		
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	10	0		
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	10	0		
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	10	0		
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	10	0		
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	10	0		
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	10	0			